

平塚製造所 CSRレポート

事業内容: 航空機用部品、スポーツ用品、各種接着剤・シーリング材、コンベヤベルト、マリンホース、防眩材、
敷地面積: その他各種工業品などの製造およびこれら製品およびタイヤに関する基礎研究および設計・開発・評価
従業員数: 999,000m² (ハマタイト工場、D-PARC、T*MARYを含む)
所在地: 1,722人 (2011年12月現在)
 〒254-8601 神奈川県平塚市追分2番1号

相談・苦情などの受付窓口:

平塚製造所業務グループ TEL: 0463-35-9501 FAX: 0463-35-9746



所長ご挨拶



西田 敏行

平塚製造所では「社会に対する公正さと環境との調和を大切にする」を規範に、横浜ゴムの中期経営計画「GD100」の基本方針の一つ「トップレベルの環境貢献企業」達成に向けた環境方針を掲げています。

この方針の下、今まで進めてきた環境負荷発生量の極小化による高い発生抑制への対応をさらに向上させると同時に、行政・地域の皆さまとさまざまな活動やコミュニケーションを通じて「地域になくしてはならない防災や安全、

環境浄化の機能を持った事業所に創りかえる」ことを目指しています。2011年度も「防災・安全レベルの向上」、「地域貢献」、「地域コミュニケーション」の3つを主体に、地域企業体や地域住民の防災訓練、進和学園への苗木提供、第8回地域コミュニケーション会の開催などを実施しました。

また、自然環境の保護と地域の皆さまとの共生を目的に継続している「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトでは、2011年度は製造所内で第5期植樹会を行い、また、湘南国際村「めぐりの森」植樹祭や、豊島区植樹祭への苗木の提供を行いました。今後もこうした活動を継続する中で平塚市の中心に位置する製造工場であることを肝に銘じ、地域発展・共生に貢献していきたいと考えています。

環境経営の推進

環境マネジメント

過去に騒音苦情を経験していることから、地域コミュニケーションを重要視しており、環境問題への配慮は欠かしていません。臭気・騒音については近隣住民の方にモニターをお願いし、毎月深夜に騒音測定を実施。近隣境界での工事や作業変更に対しては事前協議により環境問題が発生しないような注意を促しています。

環境方針

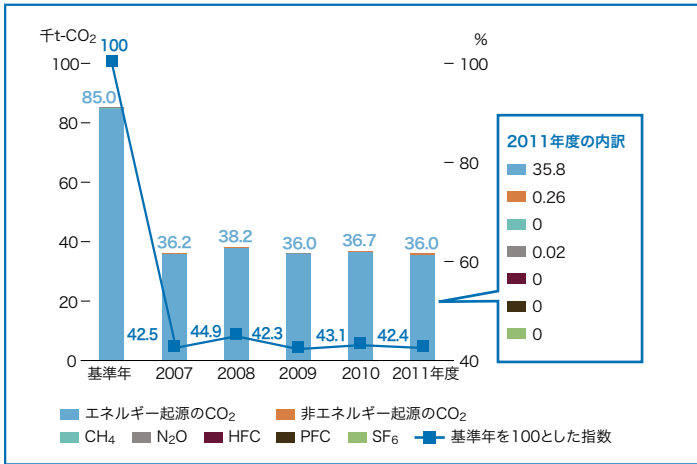
横浜ゴム株式会社は「トップレベルの環境貢献企業」を目指す

- (1) 環境経営の持続的改善を実現するため、平塚製造所を構成するすべての部門・関連企業において、自ら定めた環境マネジメントシステムに従い、手順を確立し、維持改善する。
- (2) 心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献し、社会的責任として「環境に貢献する改善」と「環境リスクの予防」を継続的に企画し、実践する。
- (3) 関連する法規制および同意した協定等を遵守し、環境保全に取り組む。
- (4) 限りある地球資源を守るため、そのムダ使いを防止する行動(MD)を実践し、3R(*)を推進する。
 *Reduce: 発生抑制、Reuse: 再使用、Recycle: 再生使用
- (5) 本方針を具現化するため、環境に影響を与える製造所の本来業務を自覚し、環境目的・目標および計画を作成し、実行する。
- (6) 平塚製造所で働くすべて人が、本方針を理解し行動するよう教育と啓蒙を行い周知徹底する。
- (7) 湘南平塚のおおらかな自然との調和・融合をもとに美しく豊かな社会形成に貢献し、地域との強絆を目指す。
- (8) 本方針は、公開する。

■温室効果ガス排出量の削減

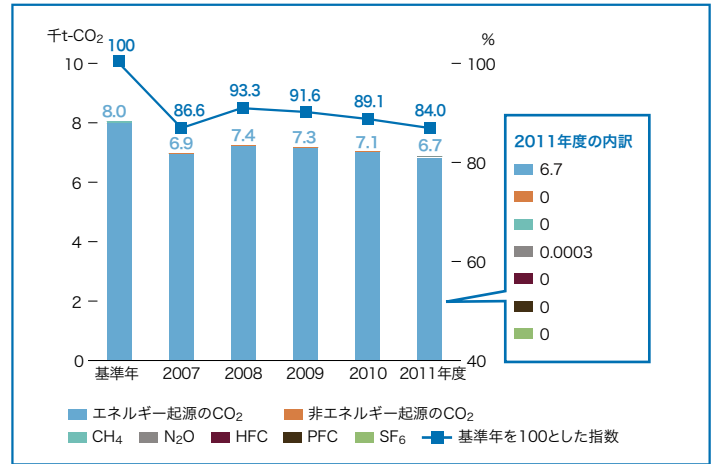
・温室効果ガス排出量

平塚製造所



※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。
 ※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

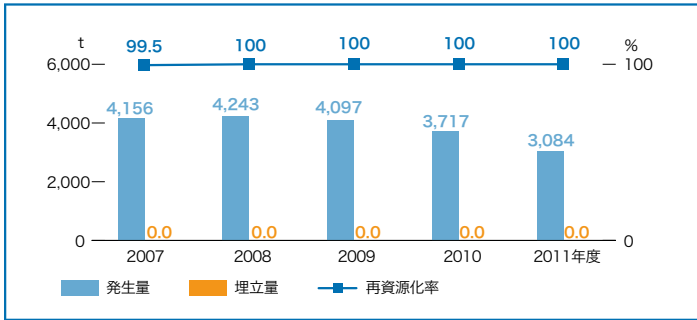
ハマタイト工場



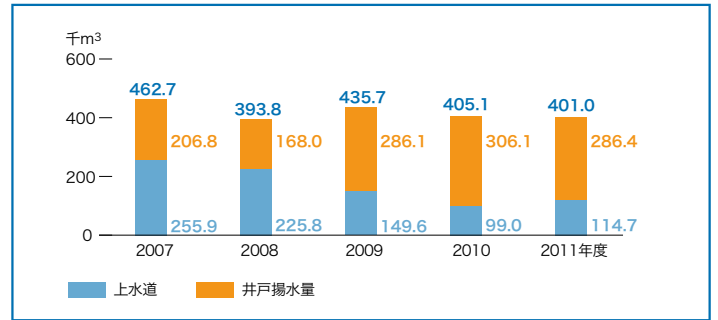
※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。
 ※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

■資源の有効活用/廃棄物の削減

・廃棄物データ



・水使用量



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

排水口	項目	規制値	自主管理値	2011年度実績		
				平均値	最大値	最小値
平塚製造所	PH	5.0~9.0	6.0~8.4	7.7	8.2	7.1
	BOD濃度 (mg/l)	600	255	23.0	98.0	1.0
	COD濃度 (mg/l)	600	255	26.3	71.0	3.0
	SS濃度 (mg/l)	30	25.5	2.3	22.0	1.0以下

※平塚市下水道条例に準拠

・大気汚染物質 (NO_x、SO_x)

項目	NO _x 排出量 (t/年)	SO _x 排出量 (t/年)
平塚製造所	20	—

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2011年度実績		
				平均値	最大値	最小値
平塚製造所 1号~4号ボイラー	窒素酸化物濃度 (ppm)	80	76	63.3	73.0	52.0
	ばいじん量 (g/h)	371	74	1.8	3.4	0.4
平塚製造所 5号~6号ボイラー	窒素酸化物濃度 (ppm)	45	42.8	32.8	37.0	29.0
	ばいじん量 (g/h)	463	92	2.5	3.9	1.3
平塚製造所 コージェネレーション	窒素酸化物濃度 (ppm)	20	19	15.9	18.6	12.0
	ばいじん量 (g/h)	2,176	435	50.8	110.0	19.0
ハマタイト工場 1号ボイラー	窒素酸化物濃度 (ppm)	60	57	21	27	19
	ばいじん量 (g/h)	272	258	1.4	1.8	1
ハマタイト工場 2号ボイラー	窒素酸化物濃度 (ppm)	60	57	16	23	14
	ばいじん量 (g/h)	180	171	1.0	1.4	0.78

※大気汚染防止法、神奈川県条例に準拠

化学物質の管理状況についての報告 (PRTR法への対応)

(単位: t/年)

平塚製造所

政令 番号	対象化学物質	取引量 ※1	排出量 ※2	移動量 ※3	安全性影響度評価 II-4			
					有害性 ランク (人)	年間換算 排出量 (人)	有害性 ランク (生体)	年間換算 排出量 (生体)
1	亜鉛の水溶性化合物	0.508	0.000	0.023	B	0.0	C	0.0
20	2-アミノエタノール	0.025	0.000	0.001	B	0.0	C	0.0
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩	0.566	0.000	0.023	B	0.0	C	0.0
31	アンチモン及びその化合物	12.786	0.000	0.514	A	0.0	記載なし	0.0
40	エチルベンゼン	0.651	0.018	0.000	C	0.2	C	0.2
42	2-イミダゾリジンチオン	0.417	0.000	0.019	B	0.0	記載なし	0.0
53	エチルベンゼン	0.290	0.257	0.007	C	2.6	C	2.6
58	エチレンジクロロモノメチルエーテル	24.135	9.680	31.526	A	9680.0	D	9.7
63	キシレン	2.755	0.043	0.038	C	0.4	A	43.0
75	カドミウム及びその化合物	0.336	0.000	0.015	A	0.0	記載なし	0.0
80	キシレン	1.139	0.848	0.031	C	8.5	C	8.5
86	クレソール	0.253	0.000	0.011	B	0.0	C	0.0
88	六価クロム化合物	0.430	0.000	0.004	A	0.0	B	0.0
127	クロロホルム	0.082	0.004	0.078	B	0.4	C	0.0
132	コバルト及びその化合物	2.682	0.000	0.091	A	0.0	—	0.0
155	N-(シクロヘキシルチオ)フタライミド	17.821	0.000	0.398	D	0.0	B	0.0
160	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノ ジフェニルメタン	1.700	0.000	0.106	A	0.0	B	0.0
169	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1- ジメチル尿素	2.334	0.000	0.000	B	0.0	A	0.0
186	ジクロロメタン	0.001	0.000	0.000	B	0.0	C	0.0
189	N,N-ジシクロヘキシル-2-ベンゾ チアゾールスルフェンアミド	0.689	0.000	0.006	D	0.0	B	0.0
203	ジフェニルアミン	0.561	0.000	0.025	B	0.0	B	0.0
205	1,3-ジフェニルグアニジン	16.110	0.000	0.307	A	0.0	C	0.0
207	2,6-ジターシャリブチル-4- クレソール	0.137	0.000	0.006	A	0.0	B	0.0
*230	N-(1,3,5-トリメチルブチル)-N' フェニル-パラフェニレンジアミン	285.316	0.000	7.044	D	0.0	B	0.0
240	ステレン	0.858	0.000	0.528	B	0.0	C	0.0
242	セレン及びその化合物	0.020	0.020	0.000	A	20.0	記載なし	0.0
255	テカブプロモジフェニルエーテル	1.514	0.000	0.068	記載なし	0.0	記載なし	0.0
258	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ [3,3,1,1(3,7)]デカン	3.733	0.000	0.240	C	0.0	D	0.0
259	テトラエチルチウラムジスルフィド	0.699	0.000	0.031	A	0.0	B	0.0
268	テトラメチルチウラムジスルフィド	2.238	0.000	0.174	A	0.0	A	0.0
279	1,1,1-トリクロロエタン	0.017	0.000	0.000	A	0.0	B	0.0
281	トリクロロエチレン	0.064	0.000	0.000	B	0.0	C	0.0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.139	0.139	0.000	C	1.4	C	1.4
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.030	0.030	0.000	C	0.3	C	0.3
300	トルエン	10.676	1.986	2.608	C	19.9	D	2.0
305	鉛化合物	1.009	0.000	0.045	A	0.0	記載なし	0.0
318	二硫化炭素	0.006	0.002	0.003	B	0.2	C	0.0
328	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミ ン酸)亜鉛	0.048	0.000	0.002	A	0.0	B	0.0
330	ビス(1-メチル-1-フェニルエチル)= ペルオキシド	1.646	0.000	0.073	D	0.0	B	0.0
349	フェノール	1.580	0.000	0.070	A	0.0	C	0.0
352	フタル酸ジアリル	8.206	0.000	0.366	A	0.0	B	0.0
354	フタル酸ジノルマルブチル	3.266	0.000	0.146	A	0.0	B	0.0
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	48.413	0.000	2.166	A	0.0	B	0.0
359	ノルマルブチル-2,3-エポキシ ロピルエーテル	0.617	0.000	0.028	B	0.0	記載なし	0.0
372	N-(ターシャリブチル)-2- ベンゾチアゾールスルフェンアミド	105.281	0.000	0.838	B	0.0	A	0.0
374	ふつ化水素及びその水溶性塩	0.008	0.002	0.003	D	0.0	記載なし	0.0
400	ベンゼン	0.005	0.002	0.002	A	2.0	C	0.0
391	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.020	0.000	0.010	A	0.0	記載なし	0.0
405	ほう素化合物	0.073	0.000	0.000	D	0.0	記載なし	0.0
411	ホルムアルデヒド	0.082	0.000	0.004	A	0.0	C	0.0
446	4,4'-メチレンジアニリン	0.058	0.000	0.002	A	0.0	B	0.0
447	メチレンビス(4,1-シクロヘキレン) =ジイソシアネート	0.199	0.000	0.000	A	0.0	C	0.0
452	2-メルカプトベンゾチアゾール	2.533	0.000	0.183	B	0.0	B	0.0
*460	りん酸トリトリル	7.509	0.000	0.335	B	0.0	B	0.0
	総合計	572.271	13.031	48.198		9735.8		67.7

1: *印は法改正により新規に届出対象になった物質
2: 法改正により届出対象外になった物質: ①アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル) ②ビスフェノールA型エポキシ樹脂 ③N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド
3: 取引量が1トン未満になったことにより届出対象外になった物質

(単位: t/年)

ハマタイト工場

政令 番号	対象化学物質	取引量 ※1	排出量 ※2	移動量 ※3	安全性影響度評価 IV-3			
					有害性 ランク (人)	年間換算 排出量 (人)	有害性 ランク (生体)	年間換算 排出量 (生体)
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及び	0.330	0.000	0.200	B	0.0	C	0.0
37	4,4'-イソプロピリデンジフェノール	0.556	0.000	0.001	B	0.0	C	0.0
51	2-エチルヘキサノ酸	37.579	0.000	0.188	A	0.0	記載なし	0.2
53	エチルベンゼン	0.107	0.000	0.001	C	0.0	A	0.9
80	キシレン	9.275	0.019	0.074	C	0.2	A	74.2
125	クロロベンゼン	19.584	0.000	0.009	B	0.0	B	0.9
160	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジ フェニルメタン	65.000	0.000	0.000	A	0.0	B	0.0
239	有機スズ化合物	1.601	0.000	0.003	A	0.0	A	3.2
258	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ [3,3,1,1(3,7)]デカン	0.735	0.000	0.000	A	0.0	A	0.0
259	テトラエチルチウラムジスルフィド	0.100	0.000	0.001	A	0.0	A	0.8
268	テトラメチルチウラムジスルフィド	1.500	0.000	0.014	A	0.0	A	13.5
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.763	0.008	0.000	C	0.1	C	0.0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.482	0.001	0.000	C	0.0	D	0.0
298	トリレンジイソシアネート	232.500	0.000	0.000	A	0.0	B	0.0
300	トルエン	43.183	0.561	4.291	A	560.6	C	42.9
302	ナフタレン	4.486	0.045	0.000	A	44.9	B	0.0
305	鉛化合物	3.485	0.000	0.000	A	0.0	B	0.0
349	フェノール	18.218	0.000	0.146	A	0.0	C	1.5
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	8.633	0.000	0.070	A	0.0	B	7.0
356	フタル酸ノルマルブチル=ベンジル	8.295	0.000	0.004	A	0.0	B	0.4
391	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	4.770	0.000	0.000	A	0.0	記載なし	0.0
399	ベンズアルデヒド	0.140	0.000	0.000	A	0.0	C	0.0
401	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2- 無水物	1.900	0.000	0.000	A	0.0	記載なし	0.0
407	ポリ(オキシエチレン)アルキルエー テル(アルキル基の炭素数が12から15 までのもの及びその混合物に限る。)	1.548	0.000	0.003	記載なし	0.0	記載なし	0.0
411	ホルムアルデヒド	0.169	0.000	0.001	A	0.0	C	1.4
412	マンガン及びその化合物	9.802	0.000	0.088	A	0.0	記載なし	0.1
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイ ソシアネート	119.303	0.000	0.000	A	0.0	記載なし	0.0
	総合計	593.714	0.633	5.094		605.7		146.9

苦情などへの対応

臭気・騒音については近隣住民の方にモニターをお願いし、毎月深夜に騒音測定を実施、近隣境界での工事や作業変更に対しては事前協議により環境問題が発生しないような注意を促しています。

これまで寄せられた主な意見や苦情と対応内容

ハマタイト工場の樹木の枝が道路にはみ出して雨の日に傘にあたるなどの情報をいただき、樹木の枝のはみ出し部分を剪定しました。今後は定期的に確認し剪定を行います。

労働安全衛生

平塚製造所では2010年7月にOSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム）の認証を取得しリスクアセスメント、KY（危険予知）活動等を主体に展開しており、2011年度は休業災害の発生がありませんでした。また、メンタルヘルス対策の再整備を行いました。防災活動については東日本震災を受けて防災マニュアルの見直しとともに緊急地震速報、安否確認システム、津波対策等の補完を行っています。また、環境・安全衛生・防災に関する法的要求事項を遵守し、各種資格取得や教育活動を積極的に推進し、火災や自然災害はもとより、化学物質の漏えいなどの緊急事態を想定し、マニュアルや対応手順を作成して各種訓練を行うなど人材育成と災害防止に努めています。

従業員の教育・訓練

市内での主な訓練・教育

2011年4月28日	有機溶剤準特別教育
2011年5月24日	ドライビングシュミレータ訓練
2011年6月9日	リスクアセスメント講習会(第1回)
2011年6月16日	防災訓練
2011年7月26日	KYT(危険予知)訓練(第1回)
2011年7月28日	地域企業体防災訓練
2011年8月5日	電気安全教育
2011年9月11日	地域自治会防災訓練
2011年10月14日	消火競技大会
2011年11月4日	総合防災訓練
2011年11月23日	リスクアセスメント講習会(第2回)
2011年12月12日	KYT(危険予知)訓練(第2回)

2012年度 平塚製造所 安全衛生管理方針

スローガン 一人ひとりの心掛け つながれ 広がれ 安全・健康・快適職場！
(中央労働災害防止協会推薦)

安全衛生基本理念
(労働安全衛生法第5条)
安全衛生は全ての基本である
管理者と監督者の強力なリーダーシップと
全グループ従業員の協力の下に
労働災害防止と快適な職場づくりと健康づくりをめざす

目 標
全体目標 ……①休業災害・不体災害ゼロ化
「止める・呼ぶ・待つ」の定着・「徹底した水平展開」
②交通事故 人身加害ゼロ化
③OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の運用

安全衛生方針

- (1) 全グループ従業員一人ひとりが安全を全てに優先させ 全ての職位・職制の参加と行動と協力の下に 安全活動の向上を図る
①職場の一人ひとりとは 職場の決め事を確守し 安全に徹した作業を行う
②管理者・監督者は 不安全状態・行動を見逃すことなく 部下の安全を守る責務を負う
また行動に当たっては 安全に対する自らの姿勢を明確に示すと共に 三視主義(現場・現物・現業)に徹し 職場の実態を自ら把握する
- (2) 安全衛生に係る法令・行政指針への積極的な適合を図る
- (3) 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)により 作業と設備に係わる潜在的危険を排除するためPDCAを回し 継続的なリスク低減を図る
- (4) “整理整頓は安全衛生の基本である”との考えをもとに 3Sを徹底する
- (5) 全グループ従業員に対して 安全衛生の重要性を周知し 必要な教育・訓練を実施する
- (6) 安心して働ける快適な職場環境づくりを推進するとともに 従業員の健康づくりを積極的に支援する
- (7) 自動車産業の一翼を担う企業として 交通事故防止に取り組む

行動指針
身近な小さな変化・異常に気づき、いち早く正常な状態に戻す

2012年 1月 1日
執行役員 工業品技術本部長兼平塚製造所長
石田 敏行



製品・サービスの安全と品質

製品・商品などの説明会等は各事業部門にて対応していますので、平塚製造所としての取り組みはありません。



人権・労働慣行

人権尊重

児童労働の禁止（対象者ゼロ）はもちろんですが、労使間で就業における規則の定期的な確認と、違反がないか報告することをルール化し、強制労働が行われぬよう監視、指導を行っています。また、新入社員には、立場・身分・性別・国籍にとらわれない対応について教育実施しています。

反社会的活動に関与しているサプライヤーとの取引を開始しない仕組み

いかなる場合であっても反社会的活動に関与している組織やサプライヤーとは取引を行いません。また、発注時には要求部門からの直接発注ではなく、必ず資材部門によるチェック機能を働かせ、公平公正な視点での商取引を敢行しています。

男女平等の推進、障がい者雇用の推進

男女雇用機会の均等な提供に努め、性別に分け隔てなく本人の能力に応じて、責任のある仕事を与えています。結果として、製造所におけるスタッフの全体における女性比率は年々上昇しています。⇒ 2009年…11.7%、2010年…15.2%、2011年…16.0%。障がい者雇用においては、2011年12月末時点で62.5人を雇用（重度ダブルカウント含む）しており、製造所の障がい者雇用率は2.91%となっています。今後も障がい者の就業機会の提供を積極的に行っていく予定です。

2011年12月9日、障がい者雇用のための特例子会社認定を目指し設立されたヨコハマピアサポート（株）は事業所を平塚製造所内に構え、知的障がい者を中心に製造所内の清掃、植栽などの緑化業務を2012年4月からスタートします。



取引先との信頼関係

汚職に関する方針

2011年度における製造所内での汚職にかかわる案件は報告されていません。

サプライヤーとのコミュニケーション

協力企業安全協力会において、CSR調達方針、調達行動規範制定の説明と苦情窓口対応の紹介を実施しました。今年度から各事業所でお取引先とのCSR勉強会を開始しました。今後平塚製造所においても開催していく予定です。



「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトとは、横浜ゴムが創業100周年を迎える2017年までに、国内外の生産拠点に合計50万本の植樹を行い「杜」を作るプロジェクトです。2007年にスタートさせ2011年度は、国内外での植樹48,980本行い、2011年度までの総植樹本数232,943本の植樹を行いました。

<2011年度の取り組み>

2011年2月：苗木寄贈先社会福祉法人進和学園への施設見学会へ参加7人

2011年5月：湘南国際村めぐりの森植樹祭への苗木提供（1,370本）植樹への参加

2011年5月：東京豊島区植樹祭への苗の提供と植樹祭への参加（100本）

2011年5月：国際生物多様性の日（グリーンウェブ）にあわせた植樹の実施（40本）

2011年7月：社会福祉法人進和学園への無償苗提供（1,936本寄贈）

2011年11月：第5回植樹（520本）新入社員52人（スタッフ含む）

2011年11月：Think Eco Hiratsuka イベント開催 約768人の参加



2011年11月：湘南国際村めぐりの森植樹祭への苗木提供（780本）植樹への参加

地域社会とのかかわり

2011年9月11日：「立野町・浅間町合同防災訓練」を製造所グラウンドで行いました。

地域から約100人の方が参加され「天ぷら鍋火災消火訓練、AEDの使い方、三角巾の使い方」等の訓練を行いました。3月11日に起こった震災の影響もあり、皆さん真剣に取り組まれていました。なお、製造所からは訓練支援のため14人が参加しました。

2011年10月：商工会議所主催「湘南ひらつかテクノフェア」に出展、ECOタイヤの展示、ゴルフ試打コーナーの設置を行いました。

2011年11月11日：「平塚盲学校大規模震災訓練」に、平塚製造所から16人が参加しました。今回の訓練は津波警報発令を想定し、車椅子の方を1階から3階まで避難する訓練の支援を行いました。

2011年11月12日：「Think Eco Hiratsuka 2011」と称して千年の杜イベントを開催、キャラクターショーの実施、製造所の前身である海軍火薬廠の講演、電気自動車展示、模擬店などで賑わいました。

2011年12月3日：平塚市まちづくり支援事業「わいわい塾」を製造所で開催、「わいわい塾」とは平塚市が定期的に企画開催している勉強会兼見学会で、2011年は当社での開催となりました。市の都市計画、用途地域を学び、その後横浜ゴムの製品の紹介、製造所の環境、防災、地域貢献活動についてご説明し、リサイクルセンター、千年の杜、MB製品、海軍火薬廠時代の建造物などを見学していただきました。平塚市職員、平塚市民など総勢31人の方がご参加されました。

2012年2月9日：地域自治会および、行政(5自治会・市役所)をお招きして地域コミュニケーション会を開催しました。41人の参加をいただき、会社概要、防災、環境を中心とした活動報告、工場見学を実施し、多くのご意見をいただきました。

工場見学・説明会

2012年2月2日：近隣の中学生の教育実習を行い、所内環境設備点検、育苗中の苗の移植作業を実施してもらいました。また、2011年12月1日韓国環境公団視察見学会を実施し9人の方に参加いただきました。



2011年7月27日に製造所内の組織管理職・係長・職長を対象に「ハラスメントしない!させない!!管理者セミナー」を開催しました。ハラスメントは企業のリスクであることを理解し、管理者がまずハラスメントへの正しい知識を持つ事で、今後の予防・改善に繋げるという狙いからグローバル人事部と企画しました。